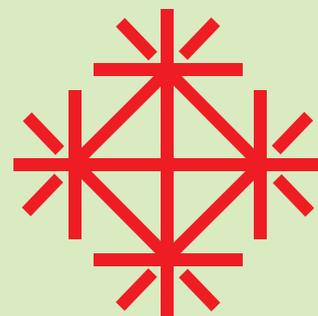


JASDAQ
証券コード:2700



Financial Report 2008



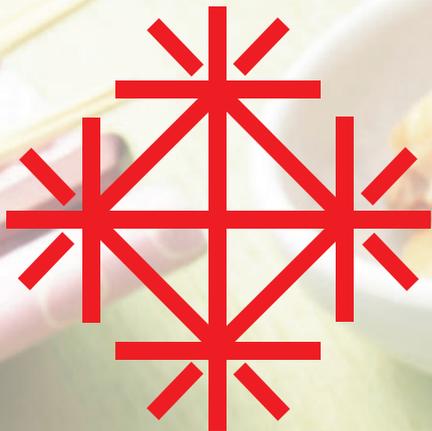
**KITOKU
SHINRYO**

第61期
株主通信

平成20年1月1日～平成20年12月31日

木徳神糧株式会社

Top Interview



【企業理念】

誠意と感謝の気持ち
クオリティの追求
新しい価値の創造

Contents

トップインタビュー	...01
木徳神糧アレコレ通信	...04
トピックス	...05
事業の概況	...06
連結財務諸表	...07
単体財務諸表	...09
会社概要	...10



代表取締役社長

平山 啓

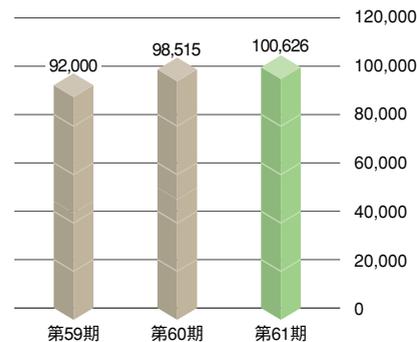
第61期決算の業績に加え、木徳神糧が今後取り組む経営課題について平山社長に聞きました。

Q. 第61期の業績についてお聞かせください。

A. 第61期における日本経済は、米国サブプライムローン問題を発端とする世界的な金融不安が実体

● 売上高

(単位：百万円)



経済にまで波及し、企業収益の悪化、設備投資の減少が次第に顕著になってまいりました。また、雇用・所得環境が厳しさを増すなかで個人消費も弱まってきております。

当社グループの関連する食品業界におきましては、海外穀物相場、配合飼料並びに原油価格等の高騰、それに伴う物流並びに生産資材コスト等が増加しているなか、食品の安全性に係る問題発生が相次ぎ、当社を取り巻く経営環境は大変厳しい状況でありました。しかしながら、主力の米穀事業である米穀業界におきましては、非食用の事故米の不正流通問題が大きな社会問題となりましたが、他の食料品価格が大幅に上昇しているなか、相対的に割安感がある米の消費は概ね堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、約8割を占める米穀事業においては積極的な新規取引先の開拓等により国産精米の販売を拡大したこと、これに伴う生産効率を向上させたこと等により、第61期においては、売上高は100,626百万円

(前年同期比2.1%増)、営業利益は1,307百万円(同57.3%増)、経常利益は1,187百万円(同65.6%増)、当期純利益は880百万円(同23.0%増)となりました。お蔭さまで、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも上場来の最高益を更新することができました。

Q. 来期の業績見通しと事業戦略について

A. 来期の日本経済の見通しにつきましては、企業収益の悪化、雇用・所得不安による個人消費の減退等により、景気後退は長期化の様相を呈しております。

当社主力である米穀事業におきましては、人口の減少や少子高齢化の進行等により米消費量の大幅な回復が見込めないことに加え、食品の安全・安心に対するニーズや低価格志向の高まり、外食から内食へのシフト等の継続が想定されております。また、農林水産省による米に



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

係る農業政策の変更が予想される等不透明感が強まっております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、生産効率の向上、営業提案力の強化、グループの生産と品質管理のレベル統一化を図り、米穀事業の競争力をより一層高めることにより、広域卸としての存在意義を示してまいります。また、コメ加工食品分野等においては、異業種企業とのコラボレーションを積極的に展開し、新規需要向けの商品開発と販売の拡大を強化することにより、収益性の高い事業を目指してまいります。さらに、海外での米穀事業に係る製造と販売の拠点を充実させながら、ベトナム産をはじめとする海外産の日本米を第三国向けに販売するグローバルなビジネスを展開してまいります。また、鶏卵事業並びに食品事業におきましては、製造及び販売のコストダウンを強化しながら、消費者の低価格志向に対応すべく競争力の向上に注力してまいります。

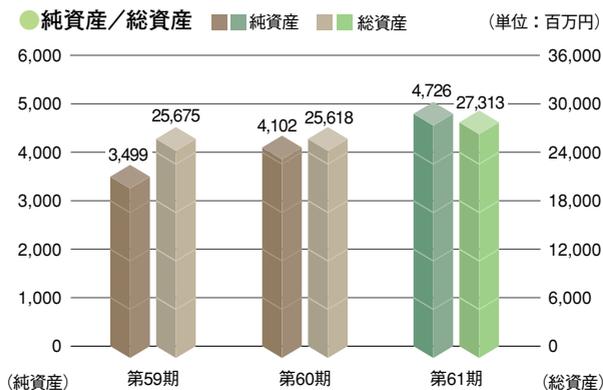
第62期（平成21年12月）通期の業績見通しにつきましては、売上高は113,000百万円、営業利益は1,160百万円、経常利益は930百万円、当期純利益は530百万円を予想しております。

Q. 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A. 今期の期末配当金につきましては1円増配し1株につき3円の普通配当とし、中間配当金3円と合わせて年間配当金は1株につき6円となりました。また、次期においても安定配当を継続し、1株につき年間4円（中間配当2円、期末配当2円）を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

来期業績見通し

売上高 113,000百万円

経常利益 930百万円

当期純利益 530百万円

木徳神糧のココが知りたい!? Q&A

Q. 木徳神糧の認知度向上のためにどのようなことをしていますか？

A. 平成21年1月6日、ビジネス専門チャンネルである日経CNBCのビジネス情報番組「ザ・リーダーズ」に平山社長が出演し、国内消費の減少と国際化が進む米穀業界において進めてきた当社の成長戦略を説明いたしました。今後のビジョンとして、日本国内では広域卸として展開し、米粉など加工食品にも積極的に取り組むこと、そして海外においては生産したお米をその国もしくは日本で消費するのではなく、第3国向けの販売を行うことによって更なる成長を目指すことを説明いたしました。今後も機会を捉えて当社の事業・戦略に対する理解を深めるための取り組みを行ってまいります。



メコンデルタで出会った笑顔のために

木徳神糧では、現在ベトナム、タイ、アメリカに拠点を設けて海外展開を推進しておりますが、実は最初にベトナム進出のプロジェクトを手がけたのが平山社長。当初はベトナム進出に迷うこともありましたが、メコンデルタで出会ったベトナムの子供たちの笑顔に感銘を受けて子供たちの将来のためにも必ず実現させようと決断したそうです。



平山社長(左)と榎戸キャスター(右)

株主優待のお知らせ

1,000株以上保有の株主並びに実質株主の皆さまに対し、当社の米穀製品等を贈呈いたします。

平成20年12月31日現在の株主の皆さまには、「新潟県佐渡産こしひかり」2kgと「有機米新潟県南魚沼産こしひかり」1.5kgの詰め合わせを贈呈いたしました。

12月31日現在の株主の皆さま 1,000株以上：3,000円相当の米穀製品を翌年3月頃に贈呈

6月30日現在の株主の皆さま 1,000株以上：2,000円相当の米穀製品を9月頃に贈呈
2,000株未満

2,000株以上：2,000円相当の米穀製品を9月頃に贈呈
さらに2,000円相当の「切り餅」を12月頃に贈呈



「新潟県佐渡産こしひかり」2kg

「有機米新潟県南魚沼産こしひかり」1.5kg

※写真はイメージです。
パッケージは変更されることがあります。

新商品のご紹介 — 「毎日続くマンナンが入ったおいしいおこめ」



昨年初めにアルファード食品株式会社、大塚食品株式会社、株式会社神明と当社の4社でお米の消費拡大と新商品開発を目的とする「e顔*食卓プロジェクト」を立ち上げました。平成21年3月に4社コラボレーション商品の第一弾として「毎日続くマンナンが入ったおいしいおこめ」を発売しました。この商品は、通常より農薬を低減した特別栽培の岩手県産ひとめぼれ無洗米に、こんにゃくが主原料のマンナンヒカリを7%配合し、美味しさと食べやすさを保ちながらカロリーの低減を実現している斬新なコメ加工食品です。当社はセブン&アイ・ホールディングス傘下のイトーヨーカ堂等の店舗で販売を展開しております。現在も新商品の開発に取り組んでおり、引き続きコメ加工食品事業の育成に注力してまいります。



平成20年12月22日付の日経MJに取り上げられました。



米穀事業

前年度水準より低くスタートした平成19年産米の入札価格は、当初更なる価格の下落が予想されましたが、政府備蓄米の積み増しにより入札価格が下げ止まり、上半期における販売価格は安定的に推移いたしました。一方、端境期においては一部銘柄米の不足感が強まったため、政府米の落札価格、業者間の取引価格が一時大幅な上昇を見せました。平成20年産米の取引価格は、生産資材が高騰したこと、需要回復の予想を基に供給過剰の懸念が後退したこと等により、前年同期を上回る状況となりましたが、米の消費は概ね堅調でありました。当社グループは、積極的な新規取引先の開拓等により国産精米の販売数量は前年同期を上回りましたが、輸入米の取扱数量が前年同期に比べて大幅に減少したこと等により、第61期における米穀事業の売上高は79,702百万円（前年同期比1.8%減）となりました。一方、多様な仕入方法の活用、国産精米の販売拡大に伴う生産効率の向上、海外子会社の業績向上等により、営業利益は1,824百万円（同45.5%増）となりました。

鶏卵事業

鶏卵業界では鶏卵相場は前年同期に比べて大幅に上昇しましたが、配合飼料価格の高騰、包装資材や運賃のコストアップが相次ぎました。当社グループにおきましては、比較的販売価格が高い特殊卵の落ち込みが大きかったこと等により、第61期における鶏卵事業の売上高は6,684百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は126百万円（同5.0%減）となりました。

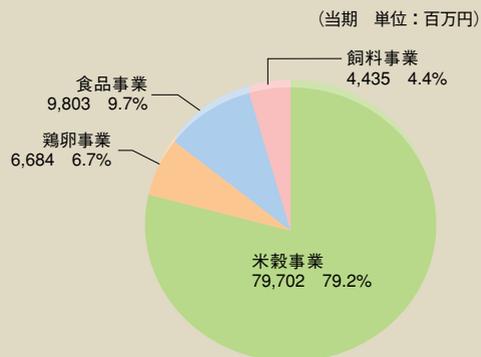
食品事業

食品事業のうち鶏肉販売は、国産品回帰の動きに加えて相場は高値で推移し、販売は堅調でありました。また、コメ加工食品の製造販売は、既存の製菓等向けのもち米粉や上新粉の販売に加えて、新規需要向けの米粉やたんぱく質調整米を活用した新商品の販売も引き続き堅調でありました。しかしながら、惣菜の製造販売は、原材料の高騰等により採算が大幅に悪化いたしました。この結果、第61期における食品事業の売上高は9,803百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益は90百万円（同37.4%減）となりました。

飼料事業

配合飼料原料である輸入穀物の価格が高騰しているなか、当社グループ精米工場から調達する国産米糠の優位性が発揮されて高値で販売を拡大したこと、加えて新規商材の開発や新規取引先の獲得が進展したこと等により、第61期における飼料事業の売上高は4,435百万円（前年同期比39.9%増）、営業利益220百万円（同4.0%増）となりました。

連結売上高構成比



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Financial Data

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当 期		前 期	
	平成20年12月31日現在	平成19年12月31日現在	平成20年12月31日現在	平成19年12月31日現在
資産の部				
流動資産	18,408,257	15,890,346		
固定資産	8,905,191	9,727,738		
有形固定資産	7,096,125	7,556,835		
無形固定資産	54,872	140,140		
投資その他の資産	1,754,193	2,030,762		
資産合計	27,313,449	25,618,084		

(単位:千円)

科 目	当 期		前 期	
	平成20年12月31日現在	平成19年12月31日現在	平成20年12月31日現在	平成19年12月31日現在
負債の部				
流動負債	19,123,753	16,710,805		
固定負債	3,463,582	4,804,838		
負債合計	22,587,336	21,515,643		
純資産の部				
株主資本	4,349,269	3,529,883		
資本金	529,500	529,500		
資本剰余金	331,500	331,509		
利益剰余金	3,506,869	2,686,854		
自己株式	△18,599	△17,979		
評価・換算差額等	△61,888	151,554		
その他有価証券評価差額金	59,587	157,595		
繰延ヘッジ損益	△76,403	1,438		
為替換算調整勘定	△45,073	△7,479		
少数株主持分	438,732	421,002		
純資産合計	4,726,113	4,102,440		
負債及び純資産合計	27,313,449	25,618,084		

資産、負債及び純資産の状況

POINT

当期末の総資産は27,313百万円（前年同期比1,695百万円増）となり、主に売掛金やたな卸資産の増加によるものです。一方、負債は22,587百万円（同1,071百万円増）、主に買掛金の増加によるものです。そして、純資産は4,726百万円（同623百万円増）、主に利益剰余金の増加によるものです。

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	当 期		前 期	
	自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日	自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日	自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日	自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日
売上高	100,626,832	98,515,994		
売上原価	93,595,795	92,175,703		
売上総利益	7,031,037	6,340,291		
販売費及び一般管理費	5,723,237	5,509,083		
営業利益	1,307,799	831,208		
営業外収益	257,701	250,875		
営業外費用	377,966	364,996		
経常利益	1,187,534	717,086		
特別利益	63,632	170,466		
特別損失	141,250	196,779		
税金等調整前当期純利益	1,109,916	690,773		
法人税、住民税及び事業税	140,466	67,894		
法人税等調整額	47,375	△111,222		
少数株主利益	41,647	18,296		
当期純利益	880,426	715,804		

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	当 期		前 期	
	自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日	自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日	自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日	自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	922,954	2,333,239		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,696	△294,216		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,190,417	△1,305,450		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,965	△2,245		
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△489,125	731,327		
現金及び現金同等物の期首残高	2,760,502	2,029,174		
現金及び現金同等物の期末残高	2,271,377	2,760,502		

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:千円)

当 期	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数 株主持分	純資産 合計	
	自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	その他の有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
平成19年12月31日 残高		529,500	331,509	2,686,854	△17,979	3,529,883	157,595	1,438	△7,479	151,554	421,002	4,102,440
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当		—	—	△59,369	—	△59,369	—	—	—	—	—	△59,369
当期純利益		—	—	880,426	—	880,426	—	—	—	—	—	880,426
自己株式の取得		—	—	—	△858	△858	—	—	—	—	—	△858
自己株式の処分		—	△9	△19	239	210	—	—	—	—	—	210
持分除外による変動		—	—	△1,022	—	△1,022	—	—	—	—	—	△1,022
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)		—	—	—	—	—	△98,007	△77,841	△37,593	△213,442	17,729	△195,713
連結会計年度中の変動額合計		—	△9	820,014	△619	819,386	△98,007	△77,841	△37,593	△213,442	17,729	623,672
平成20年12月31日 残高		529,500	331,500	3,506,869	△18,599	4,349,269	59,587	△76,403	△45,073	△61,888	438,732	4,726,113

Financial Data

単体財務諸表

単体貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当期		前期	
	平成20年12月31日現在		平成19年12月31日現在	
資産の部				
流動資産	14,003,732	11,872,571		
固定資産	7,250,316	7,978,825		
有形固定資産	4,644,596	5,021,346		
無形固定資産	30,083	102,638		
投資その他の資産	2,575,637	2,854,840		
資産合計	21,254,049	19,851,397		
負債の部				
流動負債	14,931,410	12,834,459		
固定負債	2,525,110	3,767,374		
負債合計	17,456,521	16,601,833		
純資産の部				
株主資本	3,814,691	3,093,895		
資本金	529,500	529,500		
資本剰余金	331,500	331,509		
利益剰余金	2,972,291	2,250,866		
自己株式	△18,599	△17,979		
評価・換算差額等	△17,163	155,667		
純資産合計	3,797,528	3,249,563		
負債及び純資産合計	21,254,049	19,851,397		

単体損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当期		前期	
	自平成20年1月1日 至平成20年12月31日		自平成19年1月1日 至平成19年12月31日	
売上高	82,252,887	77,483,595		
売上原価	77,499,774	73,874,528		
売上総利益	4,753,112	3,609,067		
販売費及び一般管理費	3,643,408	2,958,504		
営業利益	1,109,704	650,562		
営業外収益	144,011	209,349		
営業外費用	342,199	364,567		
経常利益	911,516	495,344		
特別利益	46,919	411,468		
特別損失	35,829	38,609		
税引前当期純利益	922,606	868,202		
法人税、住民税及び事業税	84,445	4,821		
法人税等調整額	57,346	△29,788		
当期純利益	780,813	893,168		

配当について

期末配当金につきましては1株につき3円の普通配当とし、中間配当金3円と合わせて年間配当金は1株につき6円となりました。

単体株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位:千円)

当 期	株主資本											評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益 剰余金						利益剰余金 合計	
平成19年12月31日 残高	529,500	331,500	9	331,509	114,146	575,812	1,030,000	530,907	2,250,866	△17,979	3,093,895	153,748	1,919	155,667	3,249,563
事業年度中の変動額															
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	△59,369	△59,369	-	△59,369	-	-	-	△59,369
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	780,813	780,813	-	780,813	-	-	-	780,813
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△858	△858	-	-	-	△858
自己株式の処分	-	-	△9	△9	-	-	-	△19	△19	239	210	-	-	-	210
圧縮積立金取崩	-	-	-	-	-	△27,346	-	27,346	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額 (純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△94,509	△78,322	△172,831	△172,831
事業年度中の変動額合計	-	-	△9	△9	-	△27,346	-	748,711	721,424	△619	720,796	△94,509	△78,322	△172,831	547,964
平成20年12月31日 残高	529,500	331,500	-	331,500	114,146	548,465	1,030,000	1,279,679	2,972,291	△18,599	3,814,691	59,239	△76,403	△17,163	3,797,528

会社概要 (平成20年12月31日現在)

商号	木徳神糧株式会社
事業内容	米穀事業、海外事業、飼料事業、 コメ加工食品事業
本店所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル2階 TEL：03-3571-2188
本社事務所	〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 TEL：03-5636-1501（代表） FAX：03-5636-1601
資本金	5億2,950万円
従業員数	163名（臨時雇用者を除く）

役員 (平成21年3月25日現在)

取締役・監査役

取締役会長	木村 良
代表取締役社長	平山 惇
取締役副社長	松山 正吉
専務取締役	山本 幸雄
常務取締役	水野 正夫
常務取締役	伊豫田 直記
取締役執行役員	天川 誠
取締役執行役員	小森 浩資
取締役執行役員	三澤 正博
常勤監査役	高橋 健治
監査役※	松下 守
監査役※	杉野 翔子

執行役員

執行役員	稲垣 英樹
執行役員	鎌田 慶彦
執行役員	竹田 光男
執行役員	佐藤 善雄
執行役員	石田 俊幸

※印は、会社法第2条第16号に定める
社外監査役です。

事業所一覧 (平成21年3月25日現在)

本店	東京都中央区銀座
本社	東京都江戸川区西瑞江
東北支店	宮城県仙台市
関西支店	大阪府大阪市
桶川工場	埼玉県桶川市
本牧工場	神奈川県横浜市
仙台工場	宮城県仙台市
滋賀工場	滋賀県東近江市
新潟工場	新潟県阿賀野市

木徳神糧からのお知らせ

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまの声を数多くお聞きするため、アンケートを実施させていただいております。お手数ですが、同封のアンケートハガキにご記入いただき、ご投函ください。結果は次回株主通信誌上にてご報告いたします。ご協力お願いいたします。

Homepage information

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

<http://www.kitoku-shinryo.co.jp>



Information

株主情報

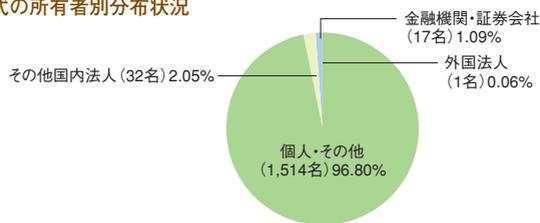
株式の状況 (平成20年12月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 8,530,000株
 (3) 株主総数 1,564名
 (4) 大株主

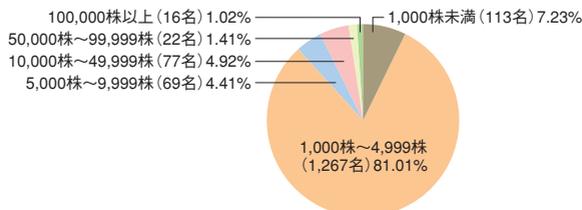
株主名	持株数	出資比率
木村謙三	405千株	4.75%
木村良	336	3.94
濱田精麥株式会社	310	3.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.52
木村友二郎	243	2.85
稲垣辰彌	230	2.70
水野正夫	216	2.53
木徳神糧従業員持株会	194	2.28
株式会社三井住友銀行	186	2.18
農林中央金庫	186	2.18

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、小数点第3位を四捨五入で表示しております。

株式の所有者別分布状況



株式の所有数別分布状況



株主メモ

- 事業年度 1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払いを行うときは6月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
- 公告方法 日本経済新聞

[株式に関するお手続きについて]

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ <small>※証券会社等の口座に記録された株式については、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。</small>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
[特別口座に記録された株式] <ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取(買増)請求 ● 住所・氏名等のご変更 ● 特別口座の残高照会 ● 配当金の受領方法の指定(*) 	特別口座の口座管理機関	[手続き書類のご請求方法] <ul style="list-style-type: none"> ● 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ● インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式をお選びいただけません。

安全、確実、迅速な配当金のお受取方法として、
口座振込みをお勧めいたします。

